



エコRCセンターに集結した車両設備

在はエコRCセンター（南房総市荒川）とエコウッドセンター（鋸南町奥山）の2カ所で処理しています。エコRCセンターでは、金属くず、ガラスくず、瓦礫・コンクリくずを扱い、1日当たり約330tの処理能力があります。

エコウッドセンターは、木くずを中心に扱い、破碎プラント2基（1日当たり処理能力約248t）を有し、発酵による減容と堆肥化するという中間処理方法での許可を得ています」

— 産業廃棄物のリサイクルは、今や地球規模の関心事と言えますね

「その通りです。特に日本は資源のない国ですから、徹底的に無駄をなくして、資源を有効活用しなければなりません。産業廃棄物と言うと、一般的には建設現場の廃材や土砂をイメージされると思いますが、あらゆる業界から大量に排出されています。当社のリサイクル方法も少しずつ変わってきました。

2年前までは木くずから堆肥を作っていたのですが、完成品が出来るまでに時間が掛かり過ぎるので、昨年からはバイオマス製造（再生可能な生物由来の有機性資源）に変えました」

— 社長になられて何か変わられたことはありますか

「白幡興業時代は、技術屋として現場を任されてきました。“専務”という立場でしたが、資金繰りや人の採用などは社長が担当してきたので、経営者として一番厄介なことはあまり経験してこなかったのです。今は社長業の大変さを実感しています。それでも今まで経験したことが無形の財産になっているのを感じます。お客様や社員など、“誰に対しても相手の立場になって考えて行動すること”。どんな時にも“謙虚な気持ちを忘れないこと”を肝に銘じています」

— これからの目標をお聞かせ下さい

「若いスタッフに恵まれているので、あと5年のうちには企業基盤をさらに強固にしたいです。人材育成、財務面の強化などに注力しながら、確実に成長していきたいですね。いま出来ることを誠実に実行していただけます」

— 白幡社長は、別会社の経営にも携わっておられますね

「2004年6月に(株)せんたつ（登記上の商号は千辰）という不動産会社を設立しました。南房総でセカンドライフを送りたい方に、土地探しから物件紹介・ライフプランサポートまであらゆるアドバイスをします仕事です。

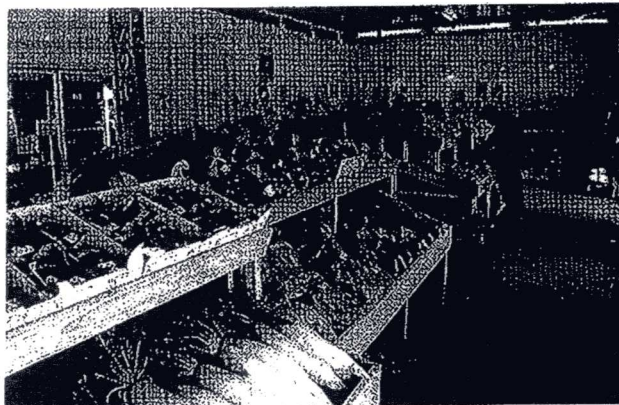
また、国道127号沿いに「たてやまとれたて市場 健人館」を共同経営しています。南房総ならではの旬の食材や花を取り揃えていますので是非お立ち寄り下さい」

— 最後に、白幡社長のモットーをお聞かせ下さい

「謙虚な気持ちを忘れず、誰に対しても誠実に向き合うこと。あとは健康です。今でも登山やソフトボールが好きでプレイしていますし、ここ数年“館山若潮マラソン”にも参加しています。仕事も遊びも全力でやりたいものですね」

●(株)千辰（資本金1000万円、館山市那古560-1、電話0470-20-5522）<http://sentatsu.jp/>

●たてやまとれたて市場健人館（館山市那古559：国道127号沿い、開館は午前9時から午後6時、電話0470-20-5227）



とれたて市場の店内、生産農家の数は250軒以上

